



仙台市立宮城野中学校

学校所在地 〒983-0842 仙台市宮城野区五輪一丁目4番25号
 電話 022-256-0215
 FAX 022-298-8523
 E-mail miyagino@sendai-c.ed.jp
 開校年月日 昭和22年4月1日 開校記念日 4月15日
 生徒数 718人 学級数 25 職員数 61名



校歌

一 萩の名どころ 宮城野に
 昇る朝日を受けて咲く
 文化の花の学舎は
 これぞ 宮城野中学校

二 榴ヶ岡に隣して
 泉ヶ岳を 望み見る
 地の利を得たる良き処
 太平洋も野の彼方

作詞 白鳥 省吾
 作曲 海鋒 義美
 三 希望の光 若やかに
 睦みて励む 和の心
 広き世界の道を行く
 宮城野中学栄えあれ

開校70年目の伝統校

昭和22年3月に学校教育法が制定されたのに伴い、同年4月に「仙台市立第六中学校」として開校しました。昭和24年4月から、学区変更により当時の第六・第七中学校が合併して、「仙台市立宮城野中学校」と校名を変更して、現在に至っています。

平成21年度から新校舎・体育館で生活をしています

～プールは平成22年3月、校庭整備・外構は平成22年6月、部室は平成23年度3月に完成～
 昭和40年に旧校舎が完成し、43年間の長きに渡って使われてきましたが、老朽化に伴い、新校舎が建築されました。隣接する仙台市立仙台大志高等学校と同一の建物で、仕切りの壁一枚を隔てて別々に生活しています。また同時に、これまで仙台函南萩陵高等学校（当時の校名）と併用していた体育館も、本校専用の体育館が完成し、平成21年4月から使用しています。
 さらに、平成22年3月にプールが完成し、平成22年6月に校庭整備・外構工事が、平成23年3月には部室が完成して、全ての工事が終了しました。

部活動で大いに活躍しています

今年度の3年生は、それぞれの部が精一杯活動を続け、運動部・文化部で次のようなすばらしい成績を残しました。また、新人戦では1・2年生も大いに活躍しました。

【運動部】

仙台市中学校総合体育大会（主な成績）

◎団体戦・団体競技

優勝：卓球部女子
 準優勝：ソフトボール部、ソフトテニス部男子、剣道部男子
 第3位：サッカー部、バドミントン部男子、バドミントン部女子

◎個人戦・個人種目

優勝：陸上競技部男子、卓球部女子、柔道部、水泳部男子
 準優勝：陸上競技部女子
 第3位：バドミントン部男子、剣道部男子、水泳部男子



宮城県中学校総合体育大会出場

ソフトテニス部男子、バドミントン部男女、陸上競技部男女、卓球部女子、ソフトボール部、剣道部男子、柔道部、水泳部男子



東北中学校総合体育大会出場

陸上競技部男女、水泳部男子

ジュニアオリンピック全国大会出場

陸上競技部男子



【文化部】

吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール太白・宮城野・若林地区大会：金賞
 全日本吹奏楽コンクール宮城県大会：金賞
 全日本吹奏楽コンクール東北大会：銀賞
 全日本マーチングコンテスト宮城県大会：金賞
 全日本マーチングコンテスト東北大会：金賞

【新人戦の主な成績】

優勝：陸上競技部男女、ソフトテニス部男子個人、剣道部男子団体・個人、柔道部個人
 準優勝：陸上競技部女子、バドミントン部男子個人・女子団体・個人
 第3位：陸上競技部男女、ソフトテニス部男子個人、卓球部男子団体、ソフトボール部、バドミントン部男子団体
 このほかにも多数の部活動が県大会に出場しています。



【歴代校長】

代	年度	氏名	代	年度	氏名
(第六中)	昭和22年度～	山田武男	12代	61年度～	白岩和巳
初代	24年度～	伊藤貞司	13代	平成元年度～	石淵岸次郎
2代	30年度～	千葉武清	14代	3年度～	山吉哲
3代	33年度～	升沢勝美	15代	6年度～	山吉大
4代	38年度～	川井善蔵	16代	6年度～	佐田宮
5代	41年度	茂手木良助	17代	10年度～	大佐伯
6代	41年度～	東岩井斉一	18代	14年度～	佐藤藤
7代	44年度～	山本修之助	19代	17年度～	佐藤木
8代	46年度～	山藤立一	20代	18年度～	鈴木高
9代	52年度～	齋藤勝雄	21代	21年度～	沼高沼
10代	53年度～	今井達朗	22代	25年度～	沼阿平
11代	59年度～	及川千一郎	23代	27年度～	

【宮中データブック (抜粋)】

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 卒業生総数(平成27年度末) | 30,303人 |
| 2 最大時の在籍生徒数 | 2,544人(昭和37年度) |
| 3 最大時の全学級数 | 50学級(昭和38年度) |
| 1 最大時の一学年の学級数 | 第3学年 18学級
(昭和38年度) |



「あ・き・た」の精神

＝平成28年度の目指す生徒像＝

「あたたかさ」＝互いの身体と生命を大切にし、思いやりにあふれた生徒
 「きびしさ」＝夢や希望の実現に向かって、確かな学力を身に付ける生徒
 「たくましさ」＝節度と規律ある生活を送り、心と体の健康づくりに励む生徒
 以上、それぞれの頭文字を取って、「あ・き・た」を合い言葉にして、折に触れて生徒たちに話しています。

あたたかさ・きびしさ・たくましさ

開かれた学校づくり

- 「学校だより」と「学年だより」「学級だより」「生徒指導だより」「ほけんだより」等の発行
- 「学校だより」「学年だより」「生徒指導だより」「ほけんだより」等を Web ページに掲載
- 年間の学習予定をまとめた「シラバス」をいつでも見られるよう web ページに掲載 (予定)
- 授業参観、三者面談等の工夫改善
- 外部評価委員会等の設置による仙台市協働型学校評価システムの実施
- 学校評議員制度の継続やPTAによる地区懇談会の開催



学力向上に向けての取組

本校の研究主題を「自ら学び自ら考える生徒の育成ー各教科における言語活動を通してー」として、「意欲を持って主体的に課題を解決する」生徒を育てるために、全教員で授業力向上を中心とした研究を進めています。
 また、基礎基本の定着の一環として、学生等のボランティアを活用した放課後学習教室を実施し、生徒一人一人の課題解決を支援しています。



学校支援地域本部事業を実施中

平成22年度から学校支援地域本部を立ち上げ、授業や部活動等において地域の方々の応援をいただいています。1学年の「人生の先輩の話」を聞く会や音楽の琴の授業で講師を派遣していただきました。

いじめ防止の取組

小中合同で、いじめ防止のスローガンを決めたり、それを生かした横断幕や缶バッジを作製して、それを活用しながらあいさつ運動を行ったりと、中学校区全体で、「いじめをしない、させない」を意識した取組をしています。小学校へ出向いてのいじめ防止ビデオ上映や、校内での署名活動も実施しています。



県内の中学校で唯一の少年消防隊を結成

東日本大震災の避難所開設時に生徒のボランティア活動が自発的になされました。
 これを受けて、生徒が自分で自分の身を守り、今後の防災・減災に向けた活動を推進するため、平成24年9月に少年消防隊を結成しました。主な活動は、避難訓練での消火訓練などの補佐や、「みやぎのまつり」での消防署ブースでのボランティア等です。夏休みには、消防チャレンジ教室や少年消防クラブ交流会へ参加し、その成果を文化発表会で発表しました。



